



議員 佐々木 慶信 (令和新風会)

問 子どもたちの居場所・学び場は

答 今後検討研究していく

松葉教育長 来年度から本格運用する教育支援施設（旧船越小）では近隣住民との交流の機会を設けるなど、地域との連携を図っていく。

濱登健康子ども課長 子どもの居場所は大切である。小中学生が気軽に遊びに行けたり、勉強したりする居場所はどこか。

山高生 濱登健康子ども課長、居場所としてはびね、

令和6年度も不登校児童生徒は過去最多を更新した。「誰一人取り残さない教育」の実現に向けて、学びの多様な相談支援の充実を図る必要がある。

山高生 当町では、地域・民間団体と連携した居場所・学び場づくりは、まちなか交流センター、公園、保健センターなど公共施設が各地区に整備されている。また民間団体が小・中・高校生に居場所の提供を開始しており、遊んだり勉強したり自由に過ごせる場所が増えたところである。



子どもたちの勉強のお手伝いをしている山高生

山高生 子どもたちが歩いて行くことができる場所に居場所を開設してほしいが。

佐々木学校教育課長 不登校対策の取組と合わせて、町全体として子どもの居場所について今後も検討研究をしていきたい。

問 熊対策として熊鈴貸出の考えは

答 方法について検討したい

山高生 熊対策が急務である。小学生の命を守るため、登下校の安全確保は自治体の責務であり、迅速な対応が求められる。

山高生 最も効果が高い対策はスクールバス等の交通手段で徒歩区間を減らすことである。現在の町内小学校での徒歩の児童数はどのくらいか。その中で熊対策としてスクールバスの利用を希望する児童、保護者はどのくらいの数か。

山高生 徒歩で登下校している児童数は山田小194名、豊間根小67名である。熊対策としてスクールバスの利用を希望する児童及び保護者数については調査していないが、数件の問い合わせがあることを確認している。

山高生 命を守る教育の一環として、当町が全児童に熊鈴等を貸し出す計画は。

山高生 貸し出す考えはないが、日頃からの備えとして各家庭で準備していただきたい。

山高生 花巻市では市内全27小中学校に6252個の熊鈴を配付している。町内の団体に熊鈴の寄贈依頼をしたが、叶わなかった。命を守る取組として熊鈴の貸出しを検討できないか。

山高生 熊鈴は有効な手段である。いろいろな団体と協議するなど、方法について検討したい。